

《教育委員からお知らせ》



研修会・研究会

日時	演題	講師名と所属（肩書き）	ポイント	備考
研究会 9月2日（日） 9:30～12:00	「災害・防災—地域での助産師活動について考える—」	香川県助産師会 災害対策委員会		参加費無料
研修会 11月18日（日） 9:30～12:30	「乳房トラブルのケアと事例検討」	香川県助産師会 池添紀美代	一般研修 2ポイント	
研修会 平成31年1月 27日（日）9:30 ～12:30	「新生児蘇生法（NCPR）Aコース・スキルアップコース」	香川県立保健医療大学 准教授 竹内美由紀 香川県立中央病院 下川智佳代	安全研修 2ポイント	
研修会 平成31年2月 2日（土）9:30～ 12:30	「助産師の専門性と継続教育」	香川県助産師会会長 宮本政子	一般研修 2ポイント	助産実践能力習熟 段階レベルⅢ認証 申請に活用可能な 研修（ステップアッ プ研修：後輩教育 等）

※上記会場は全ていのちの応援舎です。

※新生児蘇生法（NCPR）Aコース・スキルアップコースについては、申込期限を平成30年12月20日（木）16:00まで、但し募集定員18名に達し次第募集を終了します。申込時に認定番号、有効期限、所属施設、携帯番号を必ずお伝えください。

※「助産師の専門性と継続教育」は参加申込時に助産師免許証番号をお伝えください。

※研修会参加費は会員1500円・非会員2000円、スキルアップコースは会員3000円・非会員5000円。

※申し込みはすこやか助産師センター事務所まで（Tel087-844-4131、Fax 087-844-4130）。

※研修修了証を発行します。

一社）香川県助産師会主催以外の研修会

月日	タイトル	会場
9月29日～9月30日	（公社）日本助産師会中国四国助産師研修会「つながる つなぐ～助産師の心と技」	高知会館

※中国・四国地区助産師研修会の申し込み締め切りは8月31日です。

新会員♡紹介

昨年4月に和歌山県から来ました保健指導部会所属の谷本真弓です。平成8年より妊婦・新生児訪問を中心にサークル活動をしながら育児相談・絵本の読み聞かせ・ベビーマッサージ・離乳食教室等々お母さん方に情報提供していました。坂本助産所では自然分娩を学びました。平成17年からは小中高生に命の教室・性教育を行ってきました。新天地香川県の母子が楽しく子育てできるよう、「助産所まみい」で活動していきたいと思っております。皆さんよろしくお願ひ致します。

とらうべ通信

2018. 8月号

No.88

発行所：（一社）香川県助産師会 高松市春日町 1176

発行責任者：宮本 政子 ☎：087-844-4131 FAX：087-844-4130

会長便り

会長：宮本 政子

今年の夏も猛暑が予想されております。会員の皆様には日夜母子保健活動に従事され、心より御礼申し上げます。

さて、会長に就任後初めての総会も5月に無事終了しました。今年は昨年の総会でのご意見をもとに、丸亀市の岡田コミュニティセンターで開催しました。参加人数も昨年度と同程度で準備にも大きな問題もなく開催することができました。来年度どうするかは会員の皆様のご意見も伺いながら、理事会で協議したいと思っております。今年度の総会で財務担当理事、監事、推薦委員の選挙があり、それぞれ新規役員をお迎えすることになりました。理事会運営がスムーズに行えるようご協力いただきますようお願いいたします。

日本助産師会の動向ですが、5月に金沢で総会が行われ、都道府県代表者会議も併せて開催されました。主な討議テーマはアドバンス助産師の更新に関する事項でしたが、まだまだ未確定の部分が多い状況です。今後更新を計画されている助産師の皆様には、日本助産評価機構や日本助産師会のHP等で情報をしっかり把握して、更新がスムーズに行われるようご準備下さい。香川県助産師会でもこれに対応するため、今年度から研修の受講証を全員にお渡しするようにしました。また更新に必要な必須研修も計画しておりますので、多くの会員のご参加をお願いします。

また、香川県の委託事業である妊娠・出産サポート事業では、これまで実施していた電話相談やほっと相談室事業に加え、産後うつ対策事業、健康教育事業が加わりました。健康教育事業では日本助産師会で推奨している「プレ大人たちの種まき事業」に連動して、県内大学生に妊孕能力に関する出前講座を実施するための委員会を立ち上げました。今後産後うつ対策の委員会も立ち上げる予定です。

今年度の事業が円滑に実施できるよう、会員の皆様にご協力・積極のご参加を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

～委員会等今後の予定～

○すこやか会

9/2（日）13:30～（いのちの応援舎）

当日お弁当を用意しますので、すこやか会参加申し込みをお願いします。申込期限は8/19（日）まで、申込先は助産師会事務所（Tel：087-844-4131、FAX：087-844-4130）までよろしくお願ひします。

○いいお産の日イベント実行委員会

★高松会場（いのちの応援舎）

9/1（土）10:00～11:30 10/27（土）10:00～11:30

11/3（土）いいお産の日イベント（高松テルサにて）

★西会場（岡田コミュニティーセンター）

9/1（土）9:00～12:00 10/20（土）9:00～12:00

11/4（日）いいお産の日イベント（岡田コミュニティーセンター）

平成 30 年度 公益社団法人 日本助産師会通常総会報告

報告：平成 30 年度 代議員 中 理恵

(四国おとなとこどもの医療センター)



平成 30 年 5 月 24 日～26 日に金沢において「平成 30 年公益法人日本助産師会通常総会・日本助産師学会学術集会」が開催されました。私は 24 日の専門部会（勤務助産師部会）と 25 日の総会に参加させて頂き以下にご報告致します。勤務助産師部会では、「産後ケアドライブ」を中心に母児の支援体制についての意見交換がなされ、名古屋市と佐賀市の 2 施設での退院後の母児支援の取り組み報告がありました。名古屋市の「やごと周産期ネットワーク」は、各々の医療機関が協働し、ベッド連携を行っており、佐賀市では、市と医療機関との切れ目ない支援が行われていました。他施設間での患者情報の共有など連携のネックになる部分について興味深く意見交換がされました。また CloCMiP レベルⅢ認証(アドバンス助産師)申請について改正点の情報共有がなされました。総会では、舞台上がられた方々の白衣やスーツ姿ではなく、加賀友禅のお着物の美しさに、助産師の気品と誇りを感じました。世田谷区立産後ケアセンターの運営委託が始まり、また乳腺炎重症化予防ケアの保険診療が認められたことから、産後ケアの必要性について議論されました。施設での助産活動だけでなく、分娩を扱う助産師本来の業務の質の担保について活発な意見交換がされました。あつという間の 2 日間は晴天に恵まれ、全国の助産師たちの思いに、初夏を感じる暑い日々でした。このような貴重な経験をさせて頂きましたことをこの場をお借りしてお礼申し上げます。



平成 30 年度 一般社団法人 香川県助産師会通常総会報告

報告：谷病院 新庄 悦子

5 月 13 日(日)、平成 30 年度一般社団法人香川県助産師会通常総会が岡田コミュニティセンターにおいて開催されました。会長挨拶、来賓祝辞に続き被表彰者紹介があり、公社)日本助産師会会長表彰に田所由紀子様・多田羅恵美子様、厚生労働大臣表彰に鈴木綾子様、社)日本家族計画協会会長表彰に矢野富美様が授与されました。

続いて議長に網野由美子さんが任命され、通常総会が執り行われました。29 年度公社)日本助産師会総会における代議員・専門部会報告、一社)香川県助産師会の理事会・専門部会・各委員会報告、収支決算・監査報告のあと、30 年度事業計画案・収支予算案が提出、審議・承認されました。最後に代議員紹介、理事候補者選挙があり、全員信任され新役員が決定しました。

私事ですが、現在施設勤務として働いており地域との交流が少ないため、毎年総会で会員の皆様とお会いできることを楽しみにしています。今年も活発な活動事業報告を聴きながら、会員方々のご尽力を感じました。新生児訪問指導件数は 6～7 割に増加、母親からの満足度も高まっております。また「いいお産の日」事業は 22 回目を迎え、この継続年数は全国最長とのこと、本当に素晴らしい誇れる活動だと思います。「20 年のあゆみ」も発行され、当時を回想しながら拝読しました。今後も地域と施設、立場は違ってもみんな協力し合って母子を応援していきたいと思ひます。

研修会報告 「乳児・新生児のアレルギーとスキンケア」に参加して

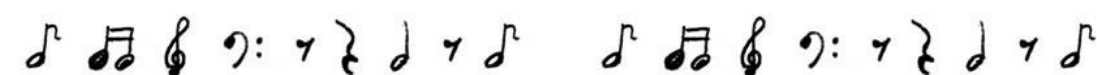
報告：三好博子

丸亀市飯山町にある空保小児科医院の平場一美先生にご講演いただきました。また、一緒に香川大学附属病院看護師で小児アレルギーエデュケーターの資格をお持ちの宮宇地優子さんがサポーターとして来られました。この資格をお持ちの方は、香川ではまだ宮宇地さんお一人だそうです。

まず、新生児のスキンケアは 24 時間以内に始めることが大切なのだそうです。私は臨床を離れて 20 年になりますが、当時は生まれてすぐの赤ちゃんは体に胎脂がついていて、それが保温の役目を果たしているのを拭き取らず自然に吸収されるのを待つ、それに沐浴ではなく数日間清拭でした。しかし、皮脂量・角質水分量がスキンケアのあるとなしでは大きく違い、スキンケアは 24 時間以内に始め、続けることが必要だそうです。

また、私たち地域で母子訪問をしている助産師は、お顔の湿疹が気になるという相談をよく受けます。ポイントはしっかり泡立てて泡で汚れを落とすこと、シャワーで頭から顔・全身を流すこと、そして終わったらオムツをあてて 5 分以内に（できるだけ早く）保湿をすることです。石けんは固形でも液体でも泡タイプでもいいそうです。しっかり泡立ててください。湿疹も赤くはれ上がっていたらステロイド軟膏で治療が必要です。副反応は無いので怖がらないで使用してくださいということです。

最後に、沐浴・泡立て・スキンケアの実習がありました。大変よく分かり納得いくものでした。準備物が大変だったのではないかと思います。先生方の熱意に感謝いたします。



研究会報告 「妊産婦のメンタルヘルスケアーエジンバラ産後うつ病自己評価票 (EPDS) の活用に関する情報交換と事例検討ー」に参加して

報告：起 えり子

去る 6 月 10 日エジンバラ産後自己評価表 (EPDS) の講義を受けました。

母子訪問でアンケートの結果、助産師として 9 点以上になった場合の対応方法について、限られた時間内に本当の気持ちを聞き出す言葉かけの難しさを日頃実感しておりましたが、この講義で、(EPDS) の実際を具体的に学ぶことができ、大変有意義でした。

【問診で気を付けること】 1. 9 点以上がうつ病で 8 点以下はうつ病ではない。 2. 点数が低ければ良いというものではない。 3. 質問 10 の希死念慮に注意する。 4. 母親の気持ちに共感しながら聞く。 5. 母親の表情をよく見る。 6. 嫌がる母親に無理に問診しない。拒否することが意見である。何か隠れた背景がある可能性がある。

【育児支援チェックリスト】・質問項目 2. 3. 5. 6. 7. 10 が 1 点以上で高得点の時は、抑うつ症状と関連が深い。・カットオフ値はないが、3 点以上では詳細な聞き取りを行う。特に以上のことがこれからの訪問で保健師さんへの連絡や事例検討会でも、とても参考になると思ひました。

また、竹内先生の発表報告にありました香川の乳児家庭全戸訪問の現状と子育て支援と産後メンタルヘルスの課題は、これからの私たちの訪問活動を勇気づけるものでした。

